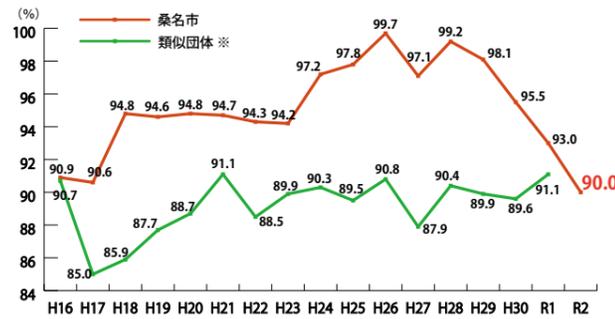


市の財政状況を示す主な指標

● 経常収支比率の状況

経常収支比率とは、地方税や地方交付税に対し、人件費や扶助費、公債費などの削減することが容易でない義務的な経費が占める割合で、この数値が低いほど財政構造にゆとりがあり、財政は健全といえます。



令和2年度決算では、平成16年度の市町合併以来、最も良い90.0%！

行財政改革などの取り組みにより、平成29年度以降4年連続で、市の財政構造のゆとりを示す経常収支比率は改善し、令和2年度決算では最も改善したことを示す数値となりました。
市の財政状況は、新市発足以来の改善が進んでいます。

※ 類似団体とは、総務省が人口と産業構造から類似する自治体をグループ分けしたものです。

● 将来負担比率の状況

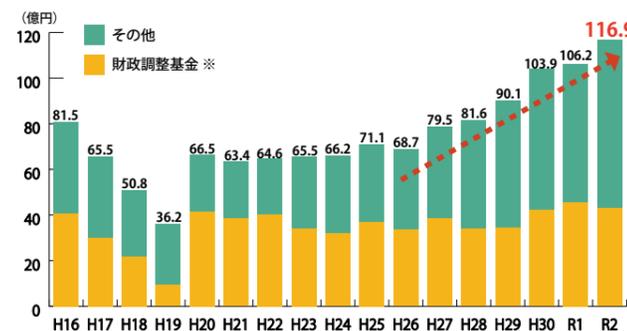
将来負担比率とは、地方債の残高など、市が将来負担すべき実質的な負債の規模を示す指標であり、この数値が低いほど将来の負担が低く、財政は健全といえます。

令和2年度決算では、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金の新規積立やふるさと応援基金の増加により、市の貯金にあたる基金の残高が増加したことで前年度に比べ6.9ポイント改善しました。

	令和2年度	令和元年度	比較
将来負担比率	57.8%	64.7%	6.9ポイント改善

市の貯金と借金

● 市の貯金の状況



5年連続で新市発足以来過去最高額を更新し、令和2年度決算では116.9億円！

市の貯金にあたる基金の残高は、歳入歳出の財政構造が改善してきたことにより、5年連続で過去最高額を更新しています。
基金は、新型コロナウイルス感染症の対応や近年激化している自然災害など予期せぬ事態への対応の備えとなります。

※ 財政調整基金とは、経済状況の変動による大幅な税収の減少や災害などの予期できない支出に備えるための基金で、特に目的を決めていない貯金にあたります。

● 市の借金の状況

	令和2年度	令和元年度	比較
借金	地方債残高（一般会計）	551億6,233万5千円	545億9,208万4千円 増加
	内訳		
	臨時財政対策債※	251億7,147万2千円	253億682万円 減少
	その他	299億9,086万3千円	292億8,526万4千円 増加

※ 臨時財政対策債とは、地方交付税の不足分を補うために特例として認められている地方債で、償還費用は全額国が負担するため、実質的な市の負担は生じません。

決算のまとめ
令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症の対策を機動的かつ重点的に取り組んだ結果、歳入・歳出総額は過去最高となりました。また、市税収入は新型コロナウイルス感染症による影響を受けつつも、市内における企業立地の動向などにより、7年連続の増収となりました。
市では、これまでと同様、新型コロナウイルス感染症の対応を最優先に取り組み、また、「防災力の強化」「スマート自治体への転換」「安定した財政基盤の確立」を3本の柱に、「誰一人取り残さない持続可能なまちづくり」を進めていくとともに、社会的な課題となっている「デジタル社会」や「グリーン社会」にもしっかりと対応していきます。

コロナに負けない 持続可能な行財政経営

9月の市議会定例会で令和2年度決算が認定されました。決算は、1年間にどれだけのお金が入り、どのように使われたのかを明らかにしたものです。

一般会計・特別会計・企業会計

	歳入（収入済額）	歳出（支出済額）
一般会計	726億9,568万5千円	700億5,616万9千円
特別会計	国民健康保険事業	126億5,422万9千円
	住宅新築資金等貸付事業	1,743万1千円
	農業集落排水事業	1億5,059万7千円
	介護保険事業	108億1,779万3千円
	後期高齢者医療事業	32億411万7千円
	地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業	18億863万2千円
企業会計	水道事業	収益的収支 29億4,251万5千円 資本的収支 12億4,197万3千円
	下水道事業	収益的収支 52億5,307万4千円 資本的収支 29億4,840万6千円
		合計
	合計	1,115億7,885万7千円



桑名市長
伊藤 徳宇

市の財政は、力を入れて取り組んできた行政改革がようやく実を結び始め、財政状況の改善が進んでいます。今後も財政健全化とともに、皆さんの暮らし向上やまちの魅力向上などの両立を図るやまちなぎに負けない持続可能な行財政経営をめざしていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。

一般会計内訳

歳入	決算額	構成比 (%)	説明	歳出	決算額	構成比 (%)	説明	
自主財源	市税	224億4,292万2千円	30.9	皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税など	議会費	3億2,736万7千円	0.5	議会の運営など
	繰入金	22億1,502万7千円	3.0	基金からの繰入金など	総務費	223億4,765万6千円	31.9	庁舎の管理、戸籍、税の収納、選挙など
	繰越金	22億2,881万円	3.1	令和元年度から繰り越されたお金	民生費	186億2,494万6千円	26.6	児童、高齢者、障害者の福祉など
	その他	35億9,169万9千円	4.9	受託消防の負担金や公共施設の使用料など	衛生費	39億551万5千円	5.6	健康診断、予防接種、ごみ処理など
依存財源	地方交付税	44億7,203万2千円	6.1	所得税などの一定割合を国から交付されたお金	労働費	4,523万7千円	0.1	就労支援、中小企業労働対策など
	国庫支出金	240億5,117万円	33.1	国が認めた事業に対し交付されたお金	農林水産業費	7億9,337万5千円	1.1	農業、漁業の振興など
	市債	62億527万1千円	8.5	公共施設の整備などのために借り入れたお金	商工費	7億3,913万3千円	1.1	商工業の振興など
	その他	74億8,875万4千円	10.4	県支出金や地方消費税交付金など	土木費	72億9,186万7千円	10.4	道路、公園などの整備・維持、桑名駅自由通路整備など
	合計	726億9,568万5千円			消防費	32億7,981万1千円	4.7	消防、救急、防災対策など
					教育費	47億2,789万8千円	6.7	学校教育、生涯学習、文化振興など
				公債費	58億6,901万円	8.4	市の借金返済	
				諸支出金	20億29万4千円	2.8	企業会計への繰り出しなど	
				災害復旧費	1億406万円	0.1	災害の復旧	
合計	726億9,568万5千円			合計	700億5,616万9千円			

▷ 歳入歳出差し引き26億3,951万6千円は、全額令和3年度に繰り越しました。

問 この記事に関するお問い合わせは、財政課（☎ 24-1137 FAX 24-6312）へ。
企業会計については、上下水道部企画総務課（☎ 49-2005 FAX 48-3585）へ。